

令和4年度 藤沢市生涯学習大学 放送通信コース

地名の不思議

～知ってなるほど！藤沢の今昔物語～

普段当たり前に目に入っている藤沢の地名。身近な地名を詳しく知り、今まで知らなかった藤沢の姿が見えてくるかもしれません。その地名となったアザに遡り、藤沢の今昔を調べてみませんか。

講師
藤沢地名の会 会長 佐々木 道雄氏 会員 布施 克彦氏、西井 郁子氏
藤沢市 郷土歴史課 宇田員

～藤沢地名の会～
当会は藤沢の地名を通して、歴史・地理・民俗等を学び、会員が郷土意識を啓発し、地名の持つ文化的価値を後世に伝える目的で昭和60年6月に設立されました。講演会・映画会・探訪・勉強会等を幅広く開催しています。

●テキスト申込み無料(随時受付中)
※藤沢市生涯学習大学の申込みの受付が終了しております。料金はお問い合わせてください。
①講座名(地名の不思議)、②開催者名、③住所、④申込み日(年、月、日)、⑤申込み時間(開始時刻)を記入してください。
申込みの場合には必ずご住所を記入してください。
放送開始前に申込みをご希望の方は
5月24日(水)の会費までにお申込みください。

●インターネットでの受講もできます。
①配信終了後(配信)。
②配信開始前(配信)。
※配信開始前には、いつでも受講できます。
※スマートフォンやタブレット端末から受講できます。
※お申し込み後、お申し込みの住所を登録してください。
※お申し込み後、お申し込みの住所を登録してください。
※お申し込み後、お申し込みの住所を登録してください。

★コース内容、スクーリング詳細は裏面へ

「令和4年度藤沢市生涯学習大学の放送通信コース」に藤沢地名の会が参画し、『地名の不思議～知ってなるほど！藤沢の今昔物語』という講座を立ち上げた。

講座はテキスト作成、レディオ湘南による放送での講義、そして実地スクーリングより構成される。テキスト作成、放送講義を終え、最後の実施項目であるスクーリングを10月1日に行った。

当日9時半に、小田急線片瀬江ノ島駅に集合。講師役は佐々木さんと筆者で、20名の参加者をガイドする。付き添っていただいた市役所生涯学習部の方々によると、応募者数は定員の2倍強となり、抽選で人数を絞った由。当日2名の欠席者が出たが、夏を思わせる日差しの中を、予定通りスタートした。

藤沢地名の会の実施する探訪は、神社仏閣や、道路脇の石像など

を巡るものが多い。しかし今回のスクーリングのテーマは「片瀬、鶴沼の小字発掘散策」で、従来地名の会が実施してきたものとはやや勝手が違う。

昨今住所表示からその多くが消えた小字名は、市民の日常生活からは遠いものとなってしまった。自分の住んでいる場所の小字が何であったかを、知らない人も多いはずだ。そのような状況の中での、小字発掘散策のコース作りには、悩むところが多かった。

それでも調べていくと、バス停、街角の公園、町内会、電信柱の表示などに、小字名が結構残っていることが分かった。そして古くから残る小字の名前から、その土地の原状や、過去の出来事などを知ることが出来た。

佐々木さんが文書館で入手された片瀬川の歴史に関わる資料や、コースの下見に同行された吉澤さんからの様々な情報が、スクーリングコースの骨格を肉付けしてくれた。

今回のスクーリングで歩いたコースは、片瀬川(境川)を遡り、石上辺りで鶴沼に入り、江ノ電鶴沼駅近くの賀来神社を最終目的地とした。コース上にある小字を辿ることで、片瀬川流路の変遷や、宅地化で変形した鶴沼に広がる砂丘の原状を思い描くことができる程度可能となり、テーマと重なるコース作りが出来たと思う。

埋もれた地名を発掘し、その名の由来を調べる。これこそが、地名の会本来の目的と思われ、その線に沿った調査活動は、有意義で楽しかった。参加者に対しても、テーマに沿った情報を、十分提供できたと思う。果たしてスクーリングの参加者たちは、それをどう受け取ってくれたらだろうか。10月に入ったとは思えない陽光の中、平均年齢70歳の方々に、3時間ほど歩いていただいた。市役所の実施したアンケートの結果はまだ知らないが、それが楽しみであると同時に、ちょっと怖い気もする。

※「地名の不思議～知ってなるほど！藤沢の今昔物語」と検索するか、右のQRコードから本講座の講義を聴くことができます。

